

記念物 史跡／国指定

おおのだいしせきほぐん

大野台支石墓群 [F-3]

江迎湾に注ぐ鹿町川南岸、標高70～80mの台地上にあり、国内最大級の支石墓群である。支石墓とは中国大陸や朝鮮半島から伝わった墳墓の一種で、箱式石棺等に遺体を埋葬し、その上に大きな石(掌石、上石)を乗せ、それを数個の石で支える

様子から名付けられた。縄文時代晩期から弥生時代前期

にかけて営まれたもので、墳墓群の推移を考える上で重要な遺跡である。広形銅鈴の一部が出土していることは注目に値する。



住 佐世保市鹿町町深江634

TEL 0956-24-1111

P なし

交 なし

案 なし

休 ー

